

富山県朝日町

# 議会だより



第114号

令和4年8月1日



笹川 ほたる橋付近

## 5月議会臨時会・6月議会定例会

■令和4年度補正予算など	2～3
■代表質問 3名	4～8
■一般質問 5名	9～13
■常任委員長報告・議会活動報告	14～15
■議会日誌 4月～6月	16

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133番地

☎0765-83-1100(代)

## 6月定例会

### ● 保育業務支援システム導入予算可決 ● 町監査委員に八木正則氏再任

令和4年6月朝日町議会定例会は、6月14日から27日までの14日間にわたり開催されました。  
保育業務支援システムを導入することなど、令和4年度一般会計補正予算や町監査委員を選任する人事案件など5件が提案され、原案のとおり可決・同意しました。

#### 令和4年度補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計（補正第1号）	補正総額	1億9,973万円
子育て世帯生活支援特別給付金		350万円
草野地内工業団地整備事業（第3期）造成工事		1億9,553万円

一般会計（補正第2号）	補正総額	1億2,812万円
本会議場映像音響システム更新工事		2,077万円
地域おこし協力隊		341万円
<b>〇A化推進費</b>		
・タブレット端末		78万円
<b>D X 推進事業</b>		
・みんなで未来会議開催業務委託		22万円
・行政情報発信ソフトウェア使用料		207万円
<b>保育所運営費</b>		
・感染症対策用品		86万円
・保育業務支援システム構築業務他		1,292万円
・歯ブラシ除菌保管庫		29万円
<b>保育所維持管理費</b>		
・幼児用便座改修工事		87万円
・天井扇設置工事		29万円
<b>新型コロナウイルスワクチン接種事業費</b>		
・接種費用		2,108万円
・接種体制確保		1,416万円
再生可能エネルギー導入目標策定支援業務		305万円
<b>病院費</b>		
・企業会計出資金		2,145万円
泊駅南公園基本設計業務委託		844万円
<b>小中学校管理費</b>		
・感染症対策・学校教育活動継続用品		842万円
・さみさと小学校エレベーターリフレッシュ工事		737万円
<b>小中学校教育振興費</b>		
・インターネット回線高速化		49万円

一般会計（補正第3号）	補正総額	8,000万円
朝日町みんなで創る共助・共創サービス事業		8,000万円

#### 議会を傍聴してみませんか！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。  
日程については、議会事務局にお問い合わせください。  
議会日程のほか、議会のインターネット中継・録画配信も下記URLの町ホームページからご覧いただけます。  
<https://www.town.asahi.toyama.jp/gyosei/index.html>  
(トップページ⇒朝日町議会⇒各ページタイトル)



QRコードからもアクセスできます

# 議会で決まったこと

## 6月定例会審議結果

※議決日は6月27日（議案第37号は6月14日）

議案番号など	件名	審議結果
議案第37号	令和4年度朝日町一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第38号	令和4年度朝日町一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第39号	令和4年度朝日町病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第40号	令和4年度朝日町一般会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第41号	朝日町監査委員を選任するため同意を求める件	同意
請願第2号	消費税インボイス制度の実施中止を求める請願	継続審査
陳情第1号	日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書採択の陳情書	不採択

## 本会議の採決における賛否一覧

◆賛否が分かれたもののみ掲載しています。

案 件	氏 名									
	大久保光太	寺西 泉	石原孝之	道用昭雄	清水真人	荒尾勇二	大井光男	加藤好進	西岡良則	水野仁士
陳情第1号 日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書採択の陳情書	×	×	×	○	×	○	×	×		×

結果賛否 ○…賛成 ×…反対 △…退席 —…欠席 ※議長は採決に加わりません。

## 5月臨時会審議結果

※議決日は5月25日

## 5月臨時会

議案番号	件名	審議結果
議案第28号	（仮称）朝日町美術館改修工事請負契約締結に関する件	原案可決
議案第29号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第3号 令和3年度朝日町一般会計補正予算（第11号）	承認
議案第30号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第4号 令和3年度朝日町一般会計補正予算（第12号）	承認
議案第31号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第5号 令和3年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	承認
議案第32号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第6号 令和3年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第3号）	承認
議案第33号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第7号 令和3年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第3号）	承認
議案第34号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第8号 令和3年度朝日町下水道特別会計補正予算（第2号）	承認
議案第35号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第9号 朝日町税条例等一部改正の件	承認
議案第36号	地方自治法第179条による専決処分の件 専決第10号 朝日町議会議員及び朝日町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例一部改正の件	承認

令和4年5月朝日町議会臨時会は、5月25日に開催され、契約案件、令和3年度専決補正予算等が提案され、原案のとおり可決・承認しました。



## 来年度以降、給食費の無償化を継続するのか

**答** 来年度からは小学校・中学校とも給食費の完全無償化を実施したい



石原孝之（グループ22）

### 質問

今年度も新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、小学校の給食費を無償とすることができたが、来年度以降は交付金がなくても給食費の無償化を継続するのか。

### 答弁 町長

私は常々、「子育て応援日本一のまち」実現のため



小学校の給食の時間

には、将来を担う若い世代への先行投資が必要であると考えており、国の交付金の有無にかかわらず、議員各位のご理解を得て、県内初となるが、来年度からは小学校・中学校とも給食費の完全無償化を実施したいと考えている。

今後とも、「子育て応援日本一のまち」実現のため、子育て環境づくり、子育て支援を充実・推進していきたいと考えている。

### 再質問

給食費の材料費が高騰しているが、今の予算内でできるのか。それができなければ、補正をするのか。

### 再答弁

教育委員会事務局長

4月の給食費の状況は、食材の高騰等により、通常の4月よりは1割ぐらい経費が多くなっている。この状況が続くと、2月頃に

は当初予算が尽きてしまう。今後それがさらに大きくなるのか、それとも通常どおりの価格になるのかを見極めながら、必要に応じて補正等で対応したいと考えている。

**保育所運営費の補正予算はどのような事業なのか**

**答** 保育業務支援システムの導入や感染症対策の費用

### 質問

子育て応援日本一の朝日町では、高校卒業までの子育てにおいて、充実した支援策が講じられている。今回の補正予算に計上された約1407万円の保育所運営費はどのような事業なのか。

### 答弁 住民・子ども課長

今回、

保育業務支援システムの導入費用やコロナ感染症対策に係る費用を上程している。

そのうち、保育業務支援システムの導入の概要は、各保育所にWiFiを整備し、専用のパソコン端末、各クラスにタブレット端末を配置することとし、その他、システムの使用料や設定費用を含めて総額約1290万円を見込んでいます。

保育所にICTを導入することは、単なるデジタル化だけではなく、

く、保護者の利便性を高めるとともに、保育所において効率的な業務運営が図られ、保育士の働き方改革にもつながり、ひいては保育の質の向上を期待できる。

**朝日町型部活動コミュニティクラブの成果と課題は**

**答** 技能等の向上が図られるが、指導者の確保等が課題

### 質問

令和3年度より朝日町型部活動コミュニティクラブが運営されているが、これまでの成果と課題は。



部活動コミュニティクラブの様子

### 答弁 教育長

町では、朝日町

体育協会を中心とする朝日町型部活動コミュニティクラブを設立し、学校部活動のうち、今年度は、休日1日、平日2日を上限として、11の部活動のうち8つの部

# 代表質問

活動で地域移行している。

成果としては、1点目に地域人材の活用により、専門性の高い指導が受けられ、体力向上だけではなく、技能、技術及び競技力の向上等が図られたこと。2点目に小学校でのスポーツ少年団から中学校の部活動へと、計画的・継続的な一貫した指導が受けられたこと。3点目に教員がこれまで部活動指導に充てていた時間を教材研究や生徒との面談等の時間に向けることができたこと。4点目に教員の在校時間が削減され、身体的・精神的な負担が減少するなど、大きな成果につながったことがある。

課題としては、指導者の確保や育成、指導方針や情報共有の在り方、生徒の安全管理の徹底や今後、費用負担の在り方についても検討が必要であると考えている。

**多くの方に大腸がん検査を受けてもらう対策が必要では**

**答** 65歳の方に採便容器を郵送して受診率向上を図る

**質問** 現在の検診では、大腸がん検査は希望者のみ行っているが、町民の健康と命を守るため、より多くの方に大腸がん検査を受

けて早期発見、早期治療していただく対策が必要ではないか。

**答** 健康課長 今年度より、大腸がんの初発年齢割合が65歳から69歳において高いことに着目し、65歳の方に採便容器を郵送することで受診率を向上させる取り組みを実施している。また、5月から開始したがん集団検診や6月において、受診者全員に大腸がん検診の必要性を伝え、受診を促す取り組みを始めており、昨年の同時期と比較して受診率は増加傾向にある。



65歳の方に郵送される採便容器

がんによる死亡率を減少させるためには、住民の皆さまに検診の必要性を的確に伝え、受診しやすい体制を整えることが大切であり、今年度取り組みの内容をしっかりと分析し、さらに取り組むべきことがないか検証していく。

## 新と旧の学習指導要領の違い、授業の変化は

**答** 新時代に求められる力の育成  
深い学びができるような授業



道用昭雄 (一步会)

**質問** 旧の学習指導要領と新の学習指導要領が求めている学習内容がどのように異なっているのか。旧の学習指導要領を補うものであるとするならば、これからの授業はどのように変化をしていくのか。

**答** 教育長 学習指導要領とは、文部科学省が定める教育課程の基準であり、これまで約10年ごとに改訂されてきた。新しい学習指導要領は、令和2年度から小学校で、翌年度から中学校で実施され、今後およそ10年後までの社会を見通して編成されている。

今回の改訂の観点としては、将来の変化を予測することが困難な時代を迎えるに当たり、新しい時代に求められる力の育成となっていることである。

新学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」、いわゆるアクティブ・ラーニングの一層の充実を図るため、これまでの学習指導要領の知識や技能の習得に加え、新学習指導要領では、社会の変化に主体的に向き合い、課題解決に向け探究的に学習を行ったり、他者と協働しながら問題解決を行うなど、より深い学びができるような授業改善が求められている。





**立地適正化計画策定時の人口と財政的な変化の必要は**

**答** 令和2年国勢調査の人口で財政面に影響はない

**質問** 朝日町立地適正化計画と朝日町第5次総合計画後期基本計画との整合性について、立地適正化計画の策定時の人口はいくらで計画され、財政的に大きな変化はなく出来るのか。



朝日町立地適正化計画概要版の一部

**答** 建設課長 立地適正化計画は、市町村の総合計画に即したものとすべく、国から助言を受けている。

第5次朝日町総合計画後期基本計画では、まちづくりの将来像として「夢と希望が持てるまちづく

り 朝日町」を掲げており、それを踏まえ、立地適正化計画では、基本方針を「まちなかと郊外部の魅力が協調・連携し、次世代に夢と希望をつなげるコンパクトシティの実現」と定め、計画の整合性を図っている。

また、立地適正化計画策定時の人口は、令和2年国勢調査の1万1081人を基にしているが、計画自体は総合計画と整合性を図っており、財政面に影響を及ぼすことはないと考えている。

**再質問** 街の真ん中にそういう人を集めたいと聞こえるが、郊外はいろんな交通を使いながら、常に真ん中に人間が集まるようにしていきたいということで、コンパクトシティのように感じられるが、その点はどうか。

**再答** 建設課長 コンパクトシティを目指すのではないかと、いうところは、まさしくその通りである。基本的にまちなかの都市機能や居住の人口を維持して、郊外部に対しては、公共交通で結ぶことにより、郊外部の人がまちなかに訪れていたとき、みんながまちなかのにぎわいを創出していき、まさしくネットワーク型コンパクトシティ。そういった考え方でこの計画を策定している。

**町民への朝日浄化センター視察を行うことはできないか**

**答** 出前講座のメニューにあるが、個別要請にも対応する

**質問** 3月の議会終了後、建設課に公共施設の視察を計画してもらい、朝日浄化センターを視察した。日常の生活に大変役立つものであった。町民の方々にも、地域ごとに年間計画を立てて視察をしてもらうことはできないか。



朝日浄化センターの視察

**答** 建設課長 朝日浄化センターへの施設視察については、例年、町内の各小学校が環境に関する総合学習の一環として小学4年生の児童を対象に施設見学を行っており、顕微鏡をのぞき微生物の

動きを観察したり、処理工程ごとに各設備を回り、下水道の仕組みや下水処理の流れを説明している。

一方で、町民全般には、住民と行政が共に考え、協働によるまちづくりを推進することを目的に、町内の自治振興会またはその関係団体などからの申込み要請に、朝日町を考える出前講座を開催している。講座メニューの中には、町の下水道についてや朝日浄化センターの施設見学なども登録されている。この出前講座については、町ホームページなどにより町民へ周知されている。

近年、町内会や関係団体からは、朝日浄化センターの施設見学の出前講座の申し込みはないが、今後、この申し込みに限らず、各町内会などから個別の要請があれば、その都度対応していきたい。



# 代表質問

## フレイル予防事業の 今後の予定は

**答** 今後も回数を重ねたいが人材不足のためサポーター養成に努めたい



寺西 泉 (青雲)

**質問** 健康寿命、貢献寿命の延伸対策として、フレイル予防事業が特に大切であり、今後、重点的に推進すべきであると考えている。このことが介護予防、認知症予防との相乗効果を生み出す。医療や介護、福祉の従事者と住民が協働・連携を深めながら地域を支えていく地域包括ケアシステムの構築に寄与するものと考えているが、今後の予定は。

**答** 健康課長 フレイルチェックについては、今後も回数を重ねていきたいと考えているが、人材が不足している状況であることから、今後もサポーターの養成に努めていく。

今後とも、フレイル予防事業をはじめとした介護予防事業に積極的に取り組んでいくが、あわせ

て、元気な高齢者がフレイルサポーターや認知症サポーター、また、いきいき百歳体操などの通いの場のリーダーなど、担い手側として活躍し、社会的役割が持てる事業の推進に努めていく。

**再質問** 一生懸命活動しておら



フレイルサポーターの方々

れるフレイルサポーターの方々、他の市町村へ視察に行く場合など、お金の支援をしていただきたいが、どのように考えるか。

**再答** 健康課長 共に頑張ろうという意気込みでやっておられる皆さまが集まって意見交換したり、あるいはどういう取り組みをしているかというのを肌で感じることが非常に大事だと思っている。

これまでコロナ禍の中、そういった交流事業は、Web会議機能を使い、各地域を結んでやってきている。

今後は、コロナの状況もあるが、交流も少しずつやっていければいいと思っており、情勢を見極めていきたい。

### あさひ総合病院の本年度の 外来患者、入院患者数は

**答** 前年同期間よりそれぞれ  
3・6%増、10・1%増

**質問** 新型コロナウイルス感染症の影響等により、あさひ総合病院を取り巻く環境は大変厳しい状況であると推察する。

このような中で、本年4月より内科医師が1名増えて5名となり、内科の午後の診療や訪問診療など、より充実した医療体制と



入院患者用のベッド

なったが、本年度の外来患者数や入院患者数はどのようになっていくか。

また、今後の病院運営には、人材確保が大切であると考えている。あさひ総合病院では、修学資金貸与制度が充実しているが、現在の医師、薬剤師、看護師の貸与の状況は。

**答** 健康課長 あさひ総合病院事務部長  
外来患者数は、今年度4月、5月の2カ月間の累計は1万6642人で、前年度同期間と比較すると580人の増、率にして3・6%の増となっている。次に、入院患者数は今年度2カ月間の累計は6221人で、前年度同期間と比較すると569人の増、率に

して10・1%の増となっている。

特に入院患者数は、今年度2カ月間の1日平均患者数は102人、病床利用率は93・6%と、2カ月間の累計であるが、令和元年度以降の同期間との比較では最も高い数字となっている。

次に、修学資金貸与制度の現時点での貸与者の実績と状況は、まず看護学生は、これまでの貸与者は28名で、現在の貸与者は7名となっており、貸与者のうち18名を職員として採用している。医学生は、今年度、新たに貸与者1名を決定しており、現在の貸与者は3名となっている。また、薬学生は、令和3年度の貸与条例制定以降初となる貸与者1名を今年度に決定したところである。

## 町の再エネ事業の協議会はどのようなメンバーになるか

**答** 各種関係団体や学識経験者などを予定している

## 質問

再生可能エネルギー導入目標策定支援事業について、町では、学識経験者を交えた協議会を設け、地域の再エネポテンシャル調査を実施し、地球温暖化防止対策実行計画の策定や脱炭素先行地域の指定に向けた計画の策定に活用していく予定であると聞いてい

るが、協議会のメンバーはどのような方々にお願いする予定なのか。



## 答弁 みんなで未来！課長 事業

業の実施に当たり、町内関係者等と合意形成を行うための協議会の開催などを計画している。参加いただく方々は、各種関係団体や学識経験者を予定しており、オプザーバーとして環境省職員や電力事業者社員を想定している。

## 本文に掲載した記事以外の質問

### ◆石原 孝之 議員

- 町政運営について
- 有害鳥獣対策の継続と充実について
- 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した地域経済活性化対策について

- 学校教育について
- 保小中一貫教育について
- DX推進事業について
- LINEによる情報配信について

- 町民の健康と生命を守る支援と対策について
- 医療用ウィッグ、乳房補正具購入費用の助成について

### ◆道用 昭雄 議員

- 新学習指導要領について
- 技術革新が進む中、教育長が求める授業は
- 教育におけるDXとは
- コミュニティスクールと地域学校協働活動の一体的推進について

- 朝日町立地適正化計画について
- 地区の区分について
- 誘導施設とは具体的に何か
- 朝日町泊駅南公園整備構想について
- 財源について
- 駐車場と車の出入りについて

### ◆寺西 泉 議員

- 高齢者福祉の充実について
- 介護人材、介護施設への支援について
- 公共交通の充実について
- 高齢者の公共交通料金への支援について
- カーボンニュートラルの推進について
- 今後の予定について
- 朝日町立地適正化計画について
- 概要の周知について
- 誘導施策について

### ◆加藤 好進 議員

- 防災計画について
- 自主防災組織の現状について
- 朝日町防災ハンドブックの活用について

- 町政について
- 地域経済の活性化について
- 観光・交流について
- 舟川「春の四重奏」の検証について
- 全国ビーチボール大会の開催について

### ◆清水 真人 議員

- 県との連携について
- 二級河川木流川の浚渫について
- 道路補修工事について
- 令和4年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について
- 検討事業内容等について

### ◆水野 仁士 議員

- 夏山シーズンに向けて
- 登山道管理と遭難について

### ◆荒尾 勇二 議員

- 住民の健康な生活について
- 在宅要介護高齢者口腔ケア事業の復活について
- 加齢性難聴者の補聴器購入に対する助成について
- 働き方改革について
- 町職員の時間外労働の現状について
- インボイス制度について
- インボイス制度の導入による、町内経済への影響について

### ◆大井 光男 議員

- 物価高騰対策支援について
- 日常生活物資の急激な価格高騰における支援について
- 公共事業の建設資材の高騰における変更や資材の確保について





「みんなで未来! 課」官民連携発足式

**質問** 過疎化や高齢化が進む中で地域の交通網を守るノックルあさひまちは、地元の黒東自動車商会や広告代理店の博報堂などが共存した事業で、住民同士が助け合う共助の新しい公共交通システムであり、全国でも珍しい官民協働の成功事例と言える。

## 今後、株式会社博報堂とどんな連携をするのか

**答** 同社が関わりを持つ事業者に町の課題を知る機会を設けたい



加藤 好進

民間の経営資源を行政サービスの提供に積極的に活用していくことが考えられるが、今後、博報堂とどのような連携をしていくのか。

**答** 弁 みんなで未来! 課長 博報堂にはDX（デジタルトランスフォーメーション）に対する取り組みへのサポートをいただいているほか、今後の連携としては、博報堂が関わりを持つ多くの事業者に向けて、朝日町が抱える課題を知っていただく機会を設けたいと考えている。

町が抱える課題をより多くの事業者者に知っていただき、その課題に対して先進的な解決手段が生み出されたとき、このことが事業者者にとっての新たな仕事となり、事業者と朝日町の間相互利益が生

み出されるような新たな関係性の創出の可能性を探っていきたいと考えている。

このように、町が抱える課題の解決をきっかけにした多くの事業者との連携が地域の活性化につながり、関係事業者との連携を拡大することにより、企業版ふるさと納税など新たな財源の確保の可能性も広がることから、引き続き博報堂との協働により、多くの事業者が、町が抱える課題の解決に参加できる環境を整え、住民サービスの向上につなげたい。

## 町におけるヤングケアラーの実態は

**答** 小・中学校にそのような子どもは見受けられない

**質問** 厚生労働省は、ヤングケアラーの実態を把握するため実態調査を行った。それによると、世話をしている家族がいると答えたのは6.5%で、およそ15人に1人に上ったことが発表されている。当町におけるヤングケアラーの実態は。

**答** 弁 教育委員会事務局長 ヤングケアラーとは、一般に、家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、

感情面のサポートなどを行っている18歳未満の子どもとされている。



障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。

ヤングケアラーの例  
(厚生労働省HPより)

この問題は、家庭生活の中で起こり得る問題であり、朝日町においては学校だけでなく、社会福祉協議会や民生委員児童委員などの地域や児童相談所、厚生センター、警察署など行政が一体となって情報共有や対処ができるよう、朝日町要保護児童対策地域協議会を組織するなどして体制が整えられている。

小・中学校のヤングケアラーについては、学校に確認をしたが、そのような子どもは見受けられないと聞いている。

今後とも、学校、地域、行政が連絡を密に情報を共有し、一体となってヤングケアラーなど子どもを取り巻く家庭での諸問題に対処できるように取り組んでいきたい。

## 南保谷地内の山腹崩落の現状と今後の対応は

**答** 雪解けにより崩壊地が拡大  
県は対策を検討したいと報告



清水 眞人

**質問**

南保谷地内において山腹崩落箇所が発生している。昨年来、崩落面積の拡大が視認されるようになってきた。農林水産課からは、新川農林振興センターと連絡を取り合っているとの返答をもらっているが、現状と今後の対応は。

**答弁**

農林水産課長

令和3年

9月に新川森林組合から新川農林振興センター及び町農林水産課に、小規模な崩壊が発生しているとの情報提供があった。その後、今年の雪解けにより、現在のように崩壊地が拡大したものである。

町では、この崩壊地を令和5年度における要望箇所の一つとして提出することを事前に県へ伝えていたところ、県では6月17日に現地まで歩いて崩壊地を確認されており、今後の対策について検討したいと報告があったところである。

**再質問** 3週間前と比べて色が変わってきているようだが、新たな崩壊の拡大というのは、先日の現地視察では、どのように判断されたのか。県では拡大はないという捉え方だったのか。



**再答弁** 農林水産課長

現地確認

は目視の状態です。被害の拡大という状況ではないと報告を受けたところ。目視の状況では、崩壊規模は、幅100メートルほど、のり長は短いところで20メートル、長いところでは50メートルほどだったという報告を受けた。

**笹原町長の11の選挙公約で優先順位が高い政策はどれか**

**答** いずれも全力を傾注し前進させていくべきもの

**質問**

笹原町長が3期目を目指した選挙公約として、「すばらしい未来へ 夢と希望のあふれるまちづくり」のキャッチコピーの下、政策と方針として、1、「高齢者福祉を大切にすまち」から始まり、11、「新たな行政スタイルを発信すまち」まで、11政策と36方針を掲げられた。

その政策の中で、町長として最も優先順位が高い政策はどれになるのか。そして、具体的にどのように進めようと考えているのか。

**答弁** 町長

掲げた11の公約

は、いずれにおいても全力を傾注し前進させていくべきものであり、これら全てに真摯に取り組む

こととして、朝日町の将来像である「夢と希望が持てるまちづくり」に向かうことができるものと考えている。



役場庁舎

進めるべき施策・事業は、既に取り組んでいるもの、既存事業や新たな取り組みなど議論を十分に重ねながらも、方針を見誤らず、スピード感を持って取り組むべきものがあり、中には短期的、中長期的なものがあると認識している。

これら諸施策に当たっては、議員各位をはじめ、町民の皆さま、町に関わる方々、関係部署と連携・協議しながら着実に進めていくとともに、今後もオール朝日町でまちづくりにまい進していきたい。



## 泊駅南公園整備への 補正の内容は

### 答 基本設計に着手して遊具広場の 配置計画など概算工事費を算出



水野 仁士

#### 質問

町の子どもたちが安心して遊べる公園に役立ててほしいと、町内で小児科医院を開業しておられた松倉利喜氏より多額の寄付金をいただいたことから、泊駅南土地区画整理事業区域内で計画されている公園と合わせた朝日町泊駅南公園整備構想が策定された。

今期定例会に約844万円の補正をされているが、その内容は、また、組合事業と公園工事との調整は。令和5年度以降の工事の展開は。

#### 答弁 建設課長

本年4月に策定した整備構想を踏まえ、町として、今議会に補正予算として計上している基本設計に着手し、各種年齢層に対応した遊具広場や芝生広場などの各施設の配置計画や、トイレ、あずまやなどの諸施設の

形状、植栽などについての概略設計を行い、維持管理費を含む概算工事費を算出することとしている。

来年度以降の予定は、令和5年度は実施設計に着手し、並行して保育園や小学校に通う子どもや保護者を対象とした公園に関するワークショップも開催したいと考えている。そして、令和6年度に工事着手し、令和7年度の完成を目指している。

しかし、公園の整備予定地は泊駅南土地区画整理事業区域内であり、区画整理の工事も進められることになるので、施工主体である組合と町が綿密に調整を重ね、お互いの進捗に影響がないように進めていきたい。

#### 再質問

こういう公園等ができると、何かと夜も物騒になると

聞いている。そこで、構想の中にはあるかと思うが、防犯カメラ等を付ける考えはあるのか。

#### 再答弁 建設課長

今後進める基本設計の中で、ある程度防犯対策を詰めていきたい、考えていきたいと思っている。実際には来年度の実施設計で具体的にどんなことをやるかという方向を決めていきたいと考えている。

### 朝日小屋の改築修繕に対する 現地での評価をしたのか

#### 答 制度上、修繕は家屋評価が 必要ないため行っていない

#### 質問

昭和の終わりか平成の初め頃までは、税務課職員が朝日小屋や白馬山荘へ出向き、固定資産の評価や隣県や他市町村との境界の確認等を行っていたようだが、今は行っていないようである。

そこで、朝日小屋は3年前に甚大な台風被害を受け、4200万円ほどかけて山小屋の改築修繕をされたが、現場へ出向き評価されたのか。

#### 答弁 税務課長

山小屋等については、以前は、1年から2年ごとに現地に出向いていた時期があった。これは、建築当初において時々増築等がされており、その



改築修繕があった朝日小屋

都度家屋評価が必要になったことに合わせて、普段から容易に目視できない場所にあることから、評価漏れを懸念して現地確認を行っていたものであった。

しかし、施設が充実してきてからは増築等がない時期が続いたため、現在は届け出があった場合等、変更があったときのみ、現地に出向くこととしている。

また、3年前の台風被害の修繕についてであるが、家屋評価は建築確認申請、登記、所有者からの申告をきっかけにしているもので、通常は修繕を行っても家屋評価は制度上必要ないということになっている。そのため、台風被害の修繕についても、現地での作業は行っていない。



## 公立病院経営強化ガイド ラインの受け止め方は

**答** 公立病院の取り組むべき方向を  
明確に表していると考ええる



荒尾 勇二

**質問**

総務省は3月29日に「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を各都道府県に通知した。町長はこの通知についてどのように受け止めているか。

**答** けん あさひ総合病院事務部長

ガイドラインの基本的な考え方は、限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用するという視点を最も重視し、新興感染症の感染拡大時の対応という視点を踏まえ、公立病院の経営を強化し、持続可能な地域

医療提供体制を確保するものとなっている。



あさひ総合病院

今回のガイドラインは経営ばかりではなく、医療提供体制や医師の偏在対策にまで踏み込んだものとなっており、公立病院の取り組むべき方向を明確に表しているも

のと考えている。

また、都道府県の役割・責任の強化が示され、都道府県立病院が中小規模の公立病院等との連携・支援を強化していくことが重要とされている。

7月に予定されている県要望に際しては、地域医療やコロナ対応の中核を担う自治体病院が維持されるよう中小規模の病院との連携・強化を要望することとしている。

**再質問**

ガイドラインで経営の強化が言われているが、統廃合の対象として挙げられた病院のリストは撤回されたのか。

**再答** けん あさひ総合病院事務部長

新聞によつては「公立病院の統廃合を求めず」との表現で再編・統合の対象になつたことがなくなつたような印象を受けるが、そうではない。厚労省は今年3月24日の都道府県への通知で、病院の削減や統廃合については、都道府県が地域の実情を踏まえて主体的に取り組みを進めよといっている。

富山県知事は、2023年度末を一つの区切りとして議論を尽くすとしている。新川医療圏内でも議論されるだろうし、当病院はこれ以上の病床の削減は必要ないと

いう合意を調整会議で承認してもらいたいという思いである。

**再質問**

2016年に地域医療構想が出され、高度急性期と急性期病床を20万床削減するということが示されているが、今回のガイドラインはそれについて何も触れていない。これからも削減は進められていくことが懸念されるが、どうか。



**再答** けん あさひ総合病院事務部長

新川医療圏内にある公立あるいは自治体病院や民間病院との協議の中で、目標の病床数までどう削減するか、これまでも議論してきた。当病院は199床から109床に自発的に削減したが、そうした議論を深めて、新川医療圏の病床をどうするかという議論が調整会議で行われるものと思う。

# 一般質問

## 春の四重奏の来年度に向けた検討課題は

### 答 シャトルバスの運行体制は今年度の実績から詳細を決めたい



大井 光 男

**質問** あさひ舟川春の四重奏の来年度に向けての検討課題は。

**答弁** 商工観光課地域経済活性化担当課長 来年度に向けての検討課題は、会場周辺の路上駐車や渋滞緩和対策として実施してきたシャトルバスの運行は、大きな混乱もなく、来年度も今年同様の体制を取っていきたい。

なお、シャトルバスの運行期間や台数、運行時間等は、今年度の実績を精査した上で決めていきたいと考えている。

また、仮設トイレ等の環境整備や店舗の出店、飲食スペースの設置等は、要望などを検討しながら、今後の新型コロナウイルスの感染拡大状況を見極めつつ、引き続き協議していきたい。

**再質問** シャトルバスに乗っ

た方、県外の方や県内の方、何人から直接話を聞いた。100円か200円取ってもいいのではないかと思うが、どのように考えるか。

**再答弁** 商工観光課地域経済活性化担当課長 無料化に踏み切ったのは、有料になると、路上駐車が増えるという影響などを考慮したため。来年に向けても、有料にするかどうかということは内部で検討していきたい。

厳しい農業経営への国や県に先駆けた町独自の支援策は効果的な支援策を講じていきたい

**質問** 農業経営においては、燃料、肥料、諸資材の価格の高騰が著しい。このままでは農業経営の

継続が厳しい状況である。国や県に先駆けて町独自の緊急支援策をするべきではないか。

**答弁** 企画財政課長 コロナ禍に加え、原油価格・物価高騰等によって経済的にさらに厳しい環境に置かれた生活者や事業者に対して、農業者への燃料価格等高騰対策を含め、効果的な支援策を講じていきたいと考えているので、事業の取りまとめまで、しばらく時間をいただきたい。

**山崎地区内の畜産牛舎の増設で近隣住民の意見は**

**答** 環境衛生の悪化を懸念する声が多く聞かれた

**質問** 山崎地区にある畜産の牛舎の牛頭数、牛舎の増設、堆肥舎の増設の計画についての進捗状況と近隣地域住民の意見は。

**答弁** 農林水産課長 山王にある畜産施設は、全農富山県本部肥育農場あさひとして、肉用牛の黒毛和牛が最大230頭肥育されている。当畜産施設における増設計画は、経営者の収益性の向上を図るために、年間出荷頭数を増やすことを考えると、頭数を最大350頭にする必要があり、牛舎2棟の増設と堆肥舎1棟を建設する内容となっている。

J Aみな穂管内には、既に、朝日町・入善町地区内の畜産農家や稲作農家、行政、農業者団体等が連携を図り「みな穂畜産クラスター協議会」が設立されている。畜舎等の増設計画にあたっては、この協議会が主体となって近隣町内会に対する説明会を開催し、町も一構成員として出席した。

説明会では、増設による環境衛生の悪化を懸念する声が多く聞かれ、施設拡大計画には同意できないという意見のほか、既存施設の改善要望、最新機械の導入により地元にも管理者にも優しい施設対策を講じてほしい、育てる施設だけでなく精肉を購入できる体制を作ってほしいなどの意見もあった。

**再質問** 私も現場へ行ってきた。今は臭いはしないとかわるが、やはり臭い問題はついて回る。次に、排水の問題がある。環境整備が大切だと思いが、町は全農と話をされていると思うので、今後のスケジュールは分かるか。

**再答弁** 農林水産課長 何年度に何をするという具体的な計画というところまでは、まだ行きていない状況である。

# 常任委員長報告

## 常任委員長報告

### 総務産業常任委員会

当委員会は、6月22日、23日の両日、午後1時30分から開催し、議会から付託されました、

○議案第38号 令和4年度朝日町一般会計補正予算(第2号)

について、慎重審査いたしました結果、原案のとおり可決すべきものと決しました。



次に、

○請願第2号 消費税インボイス制度の実施中止を求める請願につきましては、継続審査と決定しました。

次に、

○陳情第1号 日本政府に核兵器禁止条約への調印・批准を求める意見書採択の陳情につきましては、令和3年9月定例会で同じ趣旨の陳情を「不採択」としており、その後も状況は変わっておりません。

前回同様、日本政府の「現実の安全保障上の脅威に適切に対処しながら、地道に、現実的な核軍縮の取組みを進める」姿勢を支持する意見が多数であり、「不採択すべき」と決しました。

なお、議案等の審査の過程において、次の2点の要望がありました。

1点目、「デジタル田園都市国家構想推進交付金事業」については、関係各課と連携して取り組む

とともに、町民とも情報を共有しながら推進していただきたい。

2点目、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に伴う物価高騰は、町民生活の疲弊が懸念されているので、適切な支援策を講じられたい。

### 民生教育常任委員会

当委員会は、6月24日、午前9時から開催し、議会から付託されました、

○議案第38号 令和4年度朝日町一般会計補正予算(第2号)

○議案第39号 令和4年度朝日町病院事業会計補正予算(第1号)

以上、2案件について、慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。



### 人事案件

○朝日町監査委員を選任するため同意を求める件  
朝日町泊75番地  
八木 正則 氏(66歳)の選任に同意



# 議会活動報告

## 令和3年度政務活動費支出状況一覧

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度執行率 60.4% (参考：令和2年度執行率 32.6%)

会派名	自民クラブ	一歩会	日本共産党	進正会	まほろば	
代表者	水野 仁士	清水 真人	荒尾 勇二	大井 光男	大久保光太	
所属議員数	6人→5人	2人	1人	1人	1人	
交付額	680,000円	240,000円	120,000円	120,000円	40,000円	
支出済額	605,030円	0円	135,355円	0円	0円	
返還額	74,970円	240,000円	0円	120,000円	40,000円	
備考	R 3.12.1 所属議員数1名減		超過分は会派より 支出		R 3.12.1 新規結成	
支 出 内 訳						
科目	調査研究費	429,030円	0円	0円	0円	0円
	研修費	0円	0円	0円	0円	0円
	会議費	0円	0円	0円	0円	0円
	資料作成費	0円	0円	0円	0円	0円
	資料購入費	0円	0円	0円	0円	0円
	広報・広聴費	176,000円	0円	135,355円	0円	0円
	事務費	0円	0円	0円	0円	0円
	人件費	0円	0円	0円	0円	0円
	その他の会派活動費	0円	0円	0円	0円	0円

## 議会報告会を開催しました



4月23日、役場4階大ホールで3回目となる議会報告会を開催し、23名の方にご来場いただきました。

報告会では、総務産業常任委員会、民生教育常任委員会の両委員会で令和4年3月議会での審査議案についての報告を行いました。その質疑ではAI教育や泊駅南土地区画整理事業などについての質問がありました。

その後、町の2大観光地である、あさひ舟川春の四重奏とヒスイテラスを題材に「私の提言」と題し、参加された方からの提言をいただきました。

四重奏に関する提言では、四重奏が一望できるようにならぬいかという意見があり、自然が相手のため難しいのが現状であると回答。コーヒーへの希望が多かったためカフェができないかといった意見には、コーヒーの販売は移動販売も含め、町の担当課と調整していきたいと回答しました。

ヒスイテラスに対する提言では、飲み物の販売場所がほしいという要望がありました。以前は設置されていたが、都合により撤去された。現在要望中であるが、決まっていない状況にある。といった現状の報告もありました。



# 議会日誌

## 四月

- 18日 議会だより編集委員会
- 23日 議会報告会
- 26日 全員協議会・議員協議会

## 五月

- 17日 町村議会議長協議会
- 25日 議会運営委員会
- 令和4年5月朝日町議会臨時会  
時会本会議  
全員協議会・議員協議会

## 六月

- 2日 町村議会議長協議会臨時総会
- 9日 議会運営委員会
- 14日 議員協議会
- 6月議会定例会本会議  
(提案理由説明・細部説明・質疑)
- 16日 議会運営委員会
- 20日 本会議(代表・一般質問)
- 21日 本会議(一般質問)
- 議員協議会
- 22日 総務産業常任委員会

- 23日 総務産業常任委員会
- 24日 民生教育常任委員会
- 27日 議会運営委員会

本会議(委員長報告・討論・採決)  
議員協議会

### 永年勤続議員表彰

6月14日に開会した議定会定例会において、水野仁士議員が町議会議員として、20年の永きにわたり地方自治の振興と町発展に尽力された功績を称え、議決をもって議会から表彰されました。



### 議長交際費を公開します

項目	R 4.4.1～6.30	
	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志	5	43,100
香典・生花・見舞	1	5,000
土産・贈答	0	0
負担金・会費	2	46,000
懇談会	0	0
餞別・激励・協賛金	2	10,000
その他	0	0
合計	10	104,100



### 編集後記

ロシアによるウクライナへの一方的な力による現状変更は許されるはずがない。世界の紛争を平和に導かねばならない世界のリーダー国が自国のエゴで侵略に走ってよいものでしょうか。力によるロシアの一方的な現状変更が始まって早4カ月以上が経ち、この先明るい兆しが全然見えてこない世界です。物価高騰で生活に大きな影を落とし、日本は不安状態に入り、化石燃料や食糧事情など輸入に100%頼っている国として大変厳しい事態である。

そんな中での熱波吹くあついなついな参議院選の戦いです。責任与党の自民党、公明党それを攻める野党。議会だよりが出る頃には参議院選の勝利の女神がどちらに微笑むのか、結果が出ているでしょう。

さて、私たち町議会議員も6月の定例会も終わり、4年の期限が8月28日で任期切れとなります。参議院選と併せて出馬予定の議員は夏のあついあつい戦いが始まっています。長丁場、それぞれの出馬予定の現職議員はご自愛下さいまして、また議会で顔を合わせましょう。  
(水野)

#### ◇議会だより編集委員

- 大久保光太 水野 仁士
- 西岡 良則 荒尾 勇二
- 石原 孝之

